

平成30年度政務活動費収支報告書

議員名 伊場 勇

1 収入

政務活動費 72,000 円

2 支出

項 目	金 額 (単位:円)	備 考
調 査 研 究 費	46,231円	飛騨市、甲賀市行政視察 交通費 38,073円 宿泊費 5,700円 手土産代 1,458円 研修参加費 1,000円
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	1,887円	新聞代
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	48,118円	

3 残 額 24,000円

※12月1日付で会派を結成したため、政務活動費4か月分（平成30年12月～平成31年3月分）を返還する。

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

11月19日～20日 行政視察

## 旅費計算書

区分	事項	JR・私鉄			タクシー	計
		乗車券	グリーン	特急		
厚狭	⇔ 飛騨古川	20,980				20,980
厚狭	～ 名古屋			6,130		6,130
名古屋	～ 飛騨古川			1,240		1,240
飛騨市視察						
飛騨古川	～ 高山					0
高山	～ 岐阜			2,150		2,150
岐阜	～ 米原					0
米原	～ 草津			750		750
草津	～ 三雲	320				320
三雲	～ 酒人ふぁーむ				573	573
酒人ふぁーむ視察						
三雲	～ 草津	320				320
草津	～ 厚狭			5,610		5,610
合計		21,620	0	15,880	573	38,073

※乗車券は、【厚狭～飛騨古川間】は往復割引を利用し、【草津～三雲間】は別途購入した。

※三雲駅から酒人ふぁーむまでのタクシー代は、視察に参加した議員3人で割った。

1泊2日	運賃合計	38,073 円
	宿泊料	5,700 円
	総計	43,773 円

※領収証記載金額38,000円+573円のうち、交通費内訳は上記のとおり

残額500円については旅行業務取扱料金

領 収 証

様 No. \_\_\_\_\_

↓ 伊場 (伊場, 小野, 河崎)

★ 3,000 円也  
但 視察料

① 1,000 円

30年 11月 20日 上記正に領収いたしました

内 訳  
税抜金額  
消費税額等(%)

滋賀県甲賀市水口町酒人30番  
農事組合法人酒人ふか

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-56

領 収 書

↓ 伊場 様  
(伊場, 小野, 河崎)

領収番号000454  
033130

¥4,374- 税抜額 ¥4,050-  
消費税 ¥324-

但 商品代

② 1,458 円

2018年11月16日 上記正に領収致しました

伝助 有限会社 つねまつ菓子舗  
山口県山陽小野田市西高泊676-3  
TEL 0836-83-9060

印刷面を内側に折って保管して下さい

領 収 書

2018年11月20日 -004

メーター運賃 ¥1,720 円  
運賃料金計 ¥1,720 円  
合計 ¥1,720 円  
現金支払 ¥1,720 円

車輛番号 2783  
ご乗車有難うございました。  
Business Service Shiga

BSSタクシ -  
滋賀県湖南市三雲271-2  
☎ 0748-72-7955

347573 円  
47.18

領収書  
RECEIPT

〒521-0015  
米原市米原西8

TEL 0749-80-0046  
東横1 泉西口

お名前 伊場 勇 様				
客室番号 (ROOM No.)	人数 (PERSONS)	ご到着 (ARRIVAL)	ご出発 (DEPARTURE)	備考 (REMARKS)
0308	1	18.11.19	18.11.20	
日付 (DATE)	摘要 (EXPLANATION)		料金 (CHARGE)	お支払 (PAYMENT)
11.19	預り現金 宿泊料		5,700	5,700
	小計 (SUBTOTAL)		5,700	5,700
ご署名 SIGNATURE	収入印紙		ご請求額 AMOUNT DUE	0
会社名 FIRM			現金	

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for your stay with us.  
May we have the pleasure of serving you again.

最安値宣言!! 公式HP予約なら ¥300 OFF  
予約はこちら [toyoko-inn.com](http://toyoko-inn.com)



内消費税  
INNER TAX

422 (税 8%)

C/O-No. 33188-1-01 18/11/20

C/O-CD 14

領 収 証

No 017552

伊場 様

金額	百万	千	円
	0	38000	000

印  
紙

但し

上記金額正に領収致しました。  
ありがとうございました。

平成 30 年 11 月 7 日

取扱者

株式会社

ワールドツアー

WORLD TOURIST CORPORATION

〒754-0014 山口県山口市小  
第1原ビ

TEL (083) 973-7344

FAX (083) 973-7266

※金額を訂正したもの、社印、取扱者印のないもの又複写でなく、直接記入されたものは無効です。

新聞購読料 領収証

伊場 勇 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。


2018年 8月 8日 領収日 8月 / 日  
金額 ¥1,887

品名	延べ部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	延べ部数	金額
公明新聞	1	1,887

販売店 宇部市中村3丁目3-28  
住所 0836-39-7425 FAX 0836-39-7426  
TEL 0836-39-7425  
お申込No. 35040-24974(595)



日本共産党の  
**しんぶん赤旗**

新聞 雑誌名 「しんぶん赤旗」 日曜版

部数 1

金額 823

領収書

823 円

2018年 8月 8日

上記の金額でしかご請求いたしません  
お詫言させていただきます

日本共産党北南地区委員会  
宇部市南浜町2-1-12  
TEL0836-33-5577

領収日 8/31 日 券

## 視察研修報告書

平成 30 年 12 月 17 日

### 1. 視察日、視察先

平成 30 年 11 月 19 日（月）飛騨市役所 3 階 協議会室  
スーパー少人数指導事業について  
対応者（教育委員会学校教育課長、議会事務局課長補佐）

### 2. 参加議員 伊場 勇、小野 泰、河崎 平男

### 3. 【視察の目的】

市独自の手法で少人数教育を取入れ、学力のアップにつなげている先進地を視察し調査研究を行う。

#### 【視察の状況】

基礎学力の定着を目的とした、県の習熟度別少人数指導（県費常勤・非常勤加配）を市独自で拡充するべく独自に非常勤講師を雇用して、市内中学校に配置するし、より発展的で高等な数学・英語を学習する習熟度別少人数指導コースを開設する。

- ・ 1 集団を 3 コースに分けて 3 人の教師が指導（習得・活用・発展）
- ・ 生徒一人一人の学力の伸びに応じて、年度途中でのコース変更を可能とするため、単元の進捗は 3 コースとも同じものとする。
- ・ 発展コースでは、単元構想や一単位時間の指導方法を工夫し、学習指導要領に示された内容を速やかに習得させ、それを十分に活用して学ぶ意欲を引き出し、高度で専門的な内容の授業を実施する。

#### 【課題】

退職した教職員を再雇用することで実施しているが講師の確保が難しくなっている。

#### 【予算】

平成 28 年度～ 雇用人数 5 名、事業費 875 万円

(内訳)

- 数学スーパー指導員として A 中学校 2 名・B 中学校 1 名、  
時間給 2,000 円 x 5 h x 週 5 日 x 35 週 x 3 名
- 英語スーパー指導員として A 中学校 1 名・B 中学校 1 名、  
時間給 2,000 円 x 5 h x 週 5 日 x 35 週 x 2 名

### 4. 【考察】

岐阜県では、県下全体で少人数教育に力を入れていて、学力向上に向けて小中学校に県職員の加配が行われていることには驚いた。それに加え、市独自に非常勤講師を配置し、先駆的な教育への取組は見習うべきである。児童生徒に対しては、3つのコース分けを本人の意志を第一に尊重するなど、学ぶことへの積極性を高め、確かな学力の定着につなげている。人員の増加には予算がかかるが、将来に向けた投資を拡大するべきであると感じた。

## 視察報告書

平成 30 年 12 月 / 〇 日

### 1、視察日、視察先、事項

平成 30 年 11 月 20 日 (火) 滋賀県甲賀市農事組合法人酒人ふぁーむ  
農業政策について「時代にマッチした農業経営」

### 2、参加議員

伊場 勇、 小野 泰、 河崎 平男

### 3、報告事項

#### 【視察の目的】

農業後継者がいない中、農用地を維持し、荒廃農地を防ぐことなど、どのような方策をとっているか先進地を視察し調査研究を行う。

#### 【視察先の状況】

「(農) 酒人ふぁーむ」の集落は 69 戸、農用地面積は 53, 8 ha (水田 53, 1 ha、畑 0, 7 ha) 専業農家 2 戸、兼業農家 67 戸でほとんどが第 2 種兼業農家であり、担い手がない、農業機械は各々、農地が狭い用水の確保ができない等集落の崩壊の危機が叫ばれるなか、農地の合体、みんなで力を合わせれば何とかなるという考えで、集落内の若者から高齢者まで適材適所(役割分担)で働くことのできる形態をつくりあげている。

取り組みとして①主な農作業は土日祝日会社員や若者が効率よく営農活動をしている。②水管理は高齢者③一集落一農場の考えでみんなが楽しく農村の営みを維持している。④小規模圃場から一圃場 1 ha 以上を集約⑤ハウス野菜で少量多品目を女性が担当⑥販路拡大や付加価値商品づくり⑦IT 活用による情報共有化など様々な取り組みをして、みんなで一緒に村が元気を目標に人づくり、組織づくり、産地づくり、地域づくり、お客様づくりを理念に事業を展開している。

#### 【考察】

昔ながらの「結」の現代的復活版として、集落をひとつの農家、一集落一農場という考えで年齢、作業能力等に応じて、若者から高齢者まで適材適所、役割分担等により集落の構成員がやりがいや生きがいを創出しながら、集落の全員参加によって、地域の農業と農地を維持管理しながら営農活動をしていると考えられ参考すべきである。